

リスクと保険Ⅰ

科目ナンバリング CME-203
選択必修 2単位

三町 俊哉

1. 授業の概要(ねらい)

現在、企業活動においてリスクと保険の問題がクローズアップされています。自然災害やテロの多発、システム障害の頻発などにより、企業のリスクマネジメントに対する関心は、あらゆる業種で急速に高まっています。このことを踏まえて、本講座では、リスクやリスクマネジメントから保険制度・保険経営に至る全体像を体系的・段階的に習得することを目的としています。授業では教科書に沿って基礎理論を中心に学んでいきますが、実務の世界でどのように対応しているのかも織り交ぜ、みなさんの理解を深めていきます。

「リスクと保険Ⅰ」では、リスクと保険の基礎として、リスク・リスクマネジメント・保険制度の原理原則・機能と効果・法的側面・歴史・保険技術などを学びます。授業は原則として講義形式で行います。

2. 授業の到達目標

- ・リスクと保険の基礎知識、専門用語を習得することができる。
- ・リスク対応についての考え方を理解することで、企業の行動基準の一つを会得することができる。
- ・保険の仕組みを知ることで、企業経営と社会の成り立ちの基本的な理解を深めることができる。

3. 成績評価の方法および基準

- ・小テスト 20～30%
- ・試験 80～70%

4. 教科書・参考文献

教科書

下和田 功[編] 『はじめて学ぶリスクと保険[第4版]』 有斐閣ブックス

参考文献

米山高生 リスクと保険の基礎理論 同文館出版

山下友信・竹濱修・洲崎博史・山本哲生 保険法[第4版] 有斐閣アルマ

栗山泰史 保険募集制度の歴史的転換 保険教育システム研究所

5. 準備学習の内容

- ・当日の講義では、簡単なレジュメを配布しますので、講義内容の重要点を補記するなどし、復習に活用してください。
- ・講義に使う資料は、事前にLMSにアップする予定です。毎回、必ず事前に確認(予習)してください。
- ・教科書は毎回持参のうえ授業に臨んでください。
- ・必要に応じて、講義中に次回授業のポイントをお伝えしますので、回次の授業準備の一助としてください。
- ・原則として、授業終了時に質問のための時間を設けます。

6. その他履修上の注意事項

- ・欠席及び公欠の扱いについては、原則大学の規定にフォローします。
- ・他の受講生の迷惑とならないように、最低限の授業におけるマナーは守ってください。
- ・基礎編であるリスクと保険Ⅰの後半がリスクと保険Ⅱに繋がっているため、続けて履修することが望ましいです。
- ・第13回授業は、LMSでの実施となります。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション 自己紹介・授業の進め方・教科書の使い方・成績評価の方法および基準・出題範囲
- 【第2回】 第2回授業「リスクとは何か」の導入説明
- 【第2回】 リスクとは何か
- 【第3回】 リスクマネジメントとは何か
- 【第4回】 保険の構造と特徴(1) 保険の構造・リスクプーリング
- 【第5回】 保険の構造と特徴(2) リスクシェアリング・保険の機能と経済効果
- 【第6回】 保険の経済分析(1) 保険の経済分析(「リスクに対する経済主体の態度」を含む)
- 【第7回】 保険の経済分析(2) モラルハザード・逆選択
- 【第8回】 授業第1回～第7回のまとめ 小テスト
- 【第9回】 リスクに対処する諸制度(1) 冒険貸借・無尽の仕組みと機能
- 【第10回】 リスクに対処する諸制度(2) 保険の仕組みと機能 ART・デリバティブの仕組みと機能(デリバティブの詳細は、第14回授業で行います)
- 【第11回】 保険契約の基礎(1) 保険契約とは何か
- 【第12回】 保険契約の基礎(2) 保険契約の当事者・関係者と義務 保険契約の内容と保険契約者・被保険者
- 【第13回】 保険の歴史 海上保険・火災保険・生命保険(LMSで実施)
- 【第14回】 講義内容の総まとめ① 天候デリバティブ・保険契約の内容等・小テスト解答のエッセンス
- 【第15回】 講義内容の総まとめ② 学期末テスト